

広島県感染症発生動向月報

〔広島県感染症予防研究調査会〕
(令和5年10月解析分)

◎ 今月のトピックス

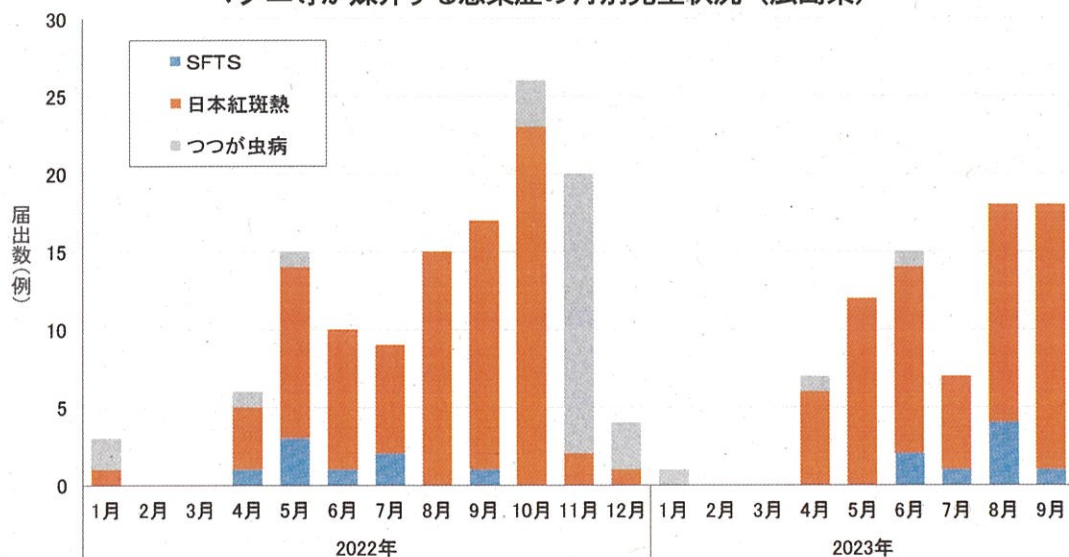
■ 涼しい秋の季節も野外ではダニ類媒介感染症に注意が必要です！！

ダニ類媒介感染症とは、病原体を保有するマダニやツツガムシに咬まれることによって起こる感染症のことです。野外作業や農作業等で、これらの生息場所に立ち入ると、マダニ等に咬まれることがあります。

感染症名	媒介生物	病原体	潜伏期間	症状		治療薬
				初期症状	特徴	
SFTS	マダニ	SFTSウイルス	6～14日	倦怠感 悪寒 急な発熱 (38～40℃)	発疹(日本紅斑熱、つつが虫病) 発熱の後にやや遅れて、体幹部や四肢に米粒大や小豆大の紅斑が出る (痛み・かゆみはない。日本紅斑熱の場合は、手のひらに見られることもある)	なし (対症療法のみ)
日本紅斑熱	マダニ	日本紅斑熱リケッチア	2～8日		刺し口 衣服に隠れた皮膚の柔らかい部分にある場合が多く、「かさぶた」が形成される (つつが虫の刺し口のかさぶたは、日本紅斑熱より大きくわかりやすい)	あり
つつが虫病	ツツガムシ	つつが虫病リケッチア	5～14日		消化器症状 食欲不振、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢など その他の症状 頭痛、筋肉痛、リンパ節腫脹など	

ダニ類媒介感染症は、マダニ等の活動が活発化する春～夏に多いイメージですが、孵化後の秋にも多く発生しており、特につつが虫病は11月に最も多く発生しています。過ごしやすい秋を迎え、アウトドアレジャーや山菜採り等でマダニ等と接触する機会が増えていますので、マダニやツツガムシに咬まれない対策を徹底しましょう。

マダニ等が媒介する感染症の月別発生状況 (広島県)



【マダニやツツガムシに咬まれないようにするには？】

長袖、長ズボン（シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる、または登山用スパッツを着用する）、足を完全に覆う靴（サンダル等は避ける）、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくすることが大事です。野外活動から戻ったら、マダニ等が体に付いていないか確認しましょう。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和 5年 9月分(令和5年9月4日～令和5年10月1日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	1,301	2.88	0.05	↑	11	ヘルパンギーナ	251	0.89	0.53	→
2	新型コロナウイルス感染症(covid-19)※1	5,194	11.52		↙	12	流行性耳下腺炎	12	0.04	0.08	↙
3	RSウイルス感染症	61	0.22	0.38	↓	13	急性出血性結膜炎	3	0.04	0.00	
4	咽頭結膜熱	111	0.39	0.24	→	14	流行性角結膜炎	50	0.66	0.55	↗
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	534	1.89	0.59	↗	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
6	感染性胃腸炎	818	2.89	2.93	→	16	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.01	
7	水痘	29	0.10	0.11	↗	17	マイコプラズマ肺炎	2	0.02	0.05	
8	手足口病	693	2.45	0.74	↗	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	伝染性紅斑	0	0.00	0.08		19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.01	0.01	
10	突発性発しん	71	0.25	0.35	→	※1 第19週(5/8～)から五類に変更。					

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和 5年 9月分(9月 1日～9月 30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	68	2.96	3.03	↙	24	メシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	67	3.19	3.48	↙
21	性器ヘルペスウイルス感染症	19	0.83	1.02	↙	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	6	0.29	0.12	
22	尖圭コンジローマ	14	0.61	0.63	→	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.01	
23	淋菌感染症	27	1.17	1.14	↙	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

発生記号(前月と比較)

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 インフルエンザ (1.23 → 2.88)
○急減疾患 RSウイルス感染症 (0.71 → 0.22)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患, 月報対象7疾患)について, 県内176の定点医療機関からの報告を集計し, 作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	42	71	19	23	21	176

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	24	結核(24)〔西部東保健所(3)、東部保健所(5)、北部保健所(1)、広島市保健所(8)、呉市保健所(2)、福山市保健所(5)〕
三類	4	腸管出血性大腸菌感染症(4)〔広島市保健所(1)、福山市保健所(3)〕
四類	27	デング熱(2)〔広島市保健所(1)、福山市保健所(1)〕
		レジオネラ症(7)〔西部東保健所(2)、東部保健所(2)、広島市保健所(3)〕
		重症熱性血小板減少症候群(SFTS)(1)〔西部東保健所(1)〕 日本紅斑熱(17)〔東部保健所(9)、呉市保健所(1)、福山市保健所(7)〕
五類	39	アメーバ赤痢(1)〔西部保健所(1)〕
		ウイルス性肝炎(1)〔西部東保健所(1)〕
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(4)〔北部保健所(1)、呉市保健所(3)〕
		急性脳炎(1)〔西部東保健所(1)〕
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕
		後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)(2)〔広島市保健所(2)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(2)〔広島市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 梅毒(27)〔西部東保健所(1)、広島市保健所(23)、福山市保健所(3)〕